

自然災害 〈備えあれば憂いなし〉

1995年1月17日「阪神・淡路大震災」から26年、2011年3月11日「東日本大震災」から10年を経ました。しかしながらいまだに、自然災害がこの先いつどこに発生するのかを正確に予測することは難しいようです。突然襲ってくる自然災害に対してどう備えればよいのか、災害に遭遇した時どう対処すればよいのかについて調べてみましょう。

1. 過去の自然災害について調べる

★参考図書で調べる

『全国災害史事典 近畿地方 1868-2015』 日外アソシエーツ 2015年10月
(5F : R210.6)

明治元年から平成27年の間に、近畿地方（大阪・京都・滋賀・奈良・兵庫・和歌山）で発生した地震・台風などの自然災害及び火災・交通事故・医療事故などの社会的災害3417件を掲載している。

『平成災害史事典』全6巻 日外アソシエーツ 2019年6月
(5F : R210.77)

平成の約30年間に発生した災害を日付順に掲載している。自然災害だけでなく伝染病、薬害・医療事故などの人災も含む。6巻目は総索引で、都道府県別一覧、災害別一覧がある。

『阪神・淡路大震災関連文献目録 1995-2000』 日外アソシエーツ 2000年10月
(5F : R369.31)

1995年から2000年7月までに日本国内で発表された関連の雑誌記事・論文及び図書を収録したもの。雑誌は一般的な総合誌や週刊誌から専門誌類までなるべく広範囲に調査されていて、図書を合わせると収録された文献総数は9085点にのぼる。いずれもテーマ別に分類し、発行年月順に排列されている。

『災害と防災・防犯統計データ集 2020-2021』 三冬社 2019年10月
(5F : R369.3)

日本や世界の災害史年表、近年の自然災害、被害データなどの調査結果のほか、防災・防犯についてのアンケート結果を掲載。大阪北部地震の影響についても載せている。

★図書で調べる

『**阪神・淡路大震災の記録：平成7年1月17日 怖かった阪神淡路の大震災 大人になっても忘れない**』 大阪府／編 大阪府 1997年1月 (5F:H369.3)

サブタイトルは、大阪府が平成8年度に「防災」をテーマとして募集した標語の特別賞に選出された、当時豊中市の小学校5年生だった児童の作品。「阪神・淡路大震災」を風化させないよう、当時の被害実態と救援・復旧活動状況及び各種関係機関の活動状況の記録として残したものである。

『**所蔵資料図録：暮らしのなかの震災資料**』 村上 しほり 他／編
阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター 2016年3月 (5F:H369.3)

震災の経験と教訓を継承・発信し、減災社会の実現に貢献するために2002年に開設された「人と防災未来センター資料室」に保存されているモノ資料の図録。震災の起こった時刻を指したままの時計や救援物資が入っていた段ボール箱などのカラー写真がぎっしり掲載されていて、当時の生活が生々しく蘇る。

『**スマホで見る阪神淡路大震災**』 木戸崇之／著 朝日放送テレビ／著 西日本出版社
2020年12月 (5F:H369.3 ｷ)

朝日放送が阪神淡路大震災の取材映像の一部をアーカイブとしてWEBサイトで一般公開した。QRコードを読み取ると、動画を当時の背景やエピソードとともに見ることができる。発災から3月までの記録。

★新聞記事データベースで調べる

毎日新聞全地方版 ※5F参考資料室の端末で利用できます
平成17年度～令和2年度 (H17年4月～令和3年3月)

「毎日新聞 縮刷版」には収録されていない、全国46都道府県(沖縄以外)地方版の全文記事が収録されている。

朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱ ※3F商用データベース端末で利用できます

最新のニュースなら、朝日新聞(1985～)・週刊朝日・AERAの全文記事が検索可能。沖縄を除く46都道府県の全地域面収録。オンラインデータベースなので、東京本社発行の朝刊なら当日朝6時から、夕刊は当日午後7時ごろに追加される。

2. 防災 について学ぶ

★図書で学ぶ

『**パッと見！防災ブック**』 野村功次郎／著 大泉書店 2021年2月 (4F:369.3 ｲ)

地震のほか、火災・水害などにそなえる方法を確認する。もしものときの救命の方法についても説明している。著者は元消防隊員。

『親子で学ぶ自然災害から子どもの命を守る本』 山本光義／著
メディアアイランド 2015年4月 (4F:369.3ヤ7)

気象予報士で、元中学校理科の教諭という経歴を持つ筆者は、子どもを持つお父さんやお母さんが、日ごろから自然災害にどう対処すればいいのか、子ども達に災害から身を守る方法を伝えておくことが重要だと述べている。そのため、普段から自然災害にあまり関心のない方にも興味深く読めるよう、出来る限り難しい表現を避けて説明されている。

『サイエンスコナン防災の不思議』 青山剛昌／原作 川村康文／監修 小学館
2017年8月 (2F:369)

東京理科大学教授監修のもと、子ども達に人気のある名探偵コナンとその仲間たちが、防災について説明するという形式になっている。自然災害発生の原理や、学校や自宅で自然災害にあったときの対処法、サバイバル生活に便利な知恵など、子ども達が興味を持つように工夫されている。大人が読んでもわかりやすく、なるほどと思えることが多い。

『新しい防災のきほん事典』 保存版 朝日新聞出版 2021年2月 (4F:369.3)

日常の備え、発災時のシミュレーション、避難生活、使える防災テクニックなどをイラストで説明している。感染症対策についても載せている。備蓄品、持ち出し品チェックリスト付き。

『犬と一緒に生き残る防災 BOOK』

犬防災編集部／編 日東書院本社 2021年1月 (4F:369.3)
家族同然の愛犬と“どんな災害も一緒に生き抜く”を考える。犬種別アドバイス付。

★DVDでもっとわかりやすく

DVD『どうする？大地震』 日本語 50分 中島 仁／製作 GPミュージアムソフト
2005年 (3F:D369.3ト)

シリーズタイトルに「その時家族を守る301の法則」とあり、地震に対する家族としての考え方、身の守り方、安全対策や応急処置方法などの防災知識をガイドしてくれる。

DVD『何でも挑戦！なるほど！DIY 1』 日本語 42分 池田 篤美／講師
日本ビーエス放送 2005年 (3F:590ナ)

DIY How to シリーズだが、サブタイトルに「いざというときに備えよう！」とあり、家具の転倒防止やガラスの飛散防止について説明している。



3. 防災に関する地域資料

『枚方市防災ガイド 保存版』 枚方市 2021年4月 (5F:H317.7)

風水害・土砂災害、地震、日頃からの備えなどが、それぞれ豊富な図やイラストで説明されている。災害情報の入手方法も載っている。洪水、内水・土砂災害ハザードマップは浸水想定区域と水深を示している。

『防活のススメ 保存版防災読本』 枚方寝屋川消防組合 2015年2月 (5F:H369.3)

地震・火災・風水害・土砂災害の知識とその対策方法を掲載。日頃から家族で話し合い、非常持ち出し品の用意や家具の固定等、自分でできることで備え、地域で協力し合いながら災害対策を行うように呼びかけている。

4. インターネットで災害情報を得る

おおさか防災ネット(枚方市版)

<http://www.osaka-bousai.net/hirakata/index.html>

気象・地震やライフライン情報、災害発生時の被害・避難情報など幅広い防災情報を提供している。

枚方市公式 LINE

LINE アプリを起動し、友だち追加の ID 検索から「@hirakata_city」で検索し、「友だち追加」ボタンを押してください。登録しておくと、枚方市から緊急情報が届きます。

気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

気象庁が発表する気象情報、地震・津波情報、火山、気候、環境、海洋情報を掲載している。

《お問合せ先》

枚方市立中央図書館 参考資料室

☎573-1159 枚方市車塚2丁目1-1

MAIL : toshokan5-1@city.hirakata.osaka.jp

TEL : 050-7105-8151

FAX : 050-7105-8152

「パスファインダー」とは、「道 (path)」を「見つける人 (finder)」という意味で、知りたいことを調べるのにどのように資料を探したらよいかを示す手引きのことです。